

様式第4号（第6条関係）

平成30年6月25日

米子水鳥公園の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木隆司 様

鳥取県米子市彦名新田665  
 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団  
 理事長 伊澤 勇 人

<p>管理業務の実施状況</p>	<p>(1) 施設等の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 樹木等の管理育成その他米子水鳥公園の保全</li> <li>○ 施設等の保守点検、補修及び清掃</li> <li>○ 施設等の警備</li> <li>○ 施設等に係る経費の支払</li> </ul> <p>(2) 施設等の利用に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種届出書の受付</li> <li>○ 入館料等の徴収</li> </ul> <p>(3) センターの利用の促進に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報活動の実施等</li> </ul>
<p>施設の利用状況</p>	<p>平成29年度の入館者数19,409人、前年度比1,242人増となった。</p> <p>当公園が人材育成として長年取り組んできた事業に、米子水鳥公園でボランティアをするために中学高校生が集まったジュニアレンジャークラブがある。本年度は、このジュニアレンジャークラブが「第71回全国野鳥保護のつどい」（静岡県熱海市）において、野生動物保護功労者表彰 環境省野生生物局長賞を受賞した。このグループは、米子水鳥公園の開設以降、小学生対象の子どもラムサールクラブなどで育成したメンバーで構成されており、小学校から高校生までを対象とした20年にわたる公園の活動が評価された。また、米子水鳥公園が加盟している東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップのつながりを受け、高校生を韓国や佐賀での国際シンポジウムに派遣した。他にも、多くの交流事業を行うとともに、これをPRして市民の自然環境に関する意識の向上を図った。</p> <p>また、日頃より米子水鳥公園及び周辺の自然環境の調査研究を行うとともに、カワウや鳥インフルエンザなど地域の課題にも対応した。さらに、日頃の研究の成果を資料の収集と展示に用いるだけでなく、ウェブ・報道各社を通じて情報発信に努めた。</p> <p>さらに、自然環境に関する学習活動として、毎月定例の自然観察会・手作り自然教室だけではなく、水鳥の絵画コンクールや園児の描いた鳥の絵展などのイベントを実施した。また、外部団体の研修、視察などを受け入れるだけではなく、ボランティア、学芸員実習などを受け入れて多面的に利用を促進した。</p>
<p>使用料（利用料金）の収入実績</p>	<p>平成29年度の入館料（一般入館券・割引入館券）及び年間パスポート券代金の収入実績1,611,450円、前年度比50,940円増となった。</p>

管理業務の実施に係る収支状況			
収 入		支 出	
項 目	金額 (円)	項 目	金額 (円)
米子市からの管理受託料	41,152,000	人件費	27,526,098
入館料	1,611,450	消耗品費	1,697,684
イベント収入	125,970	光熱水料費	1,968,363
積立金取崩し	112,811	共済費	3,980,887
		委託費	4,712,129
		租税公課	1,614,200
		修繕費	343,267
		その他	1,159,603
合 計	43,002,231	合 計	43,002,231